

平成26年度 建築基準整備促進事業の課題候補案について

No	課題候補案	概要
1	木造建築物の設計基準に関する検討	木造建築物の構造方法の多様化を図るため、壁倍率、接合部、床補剛に係る仕様基準等の見直しに関する検討を行う。
2	津波避難ビルの構造基準の合理化に資する検討	津波避難ビルの設計方法の合理化を図るため、津波が建築物に及ぼす力の計算方法等について技術基準の見直しに関する検討を行う。
3	構造スリットを設けない有壁鉄筋コンクリート造建築物の構造計算の合理化に資する検討	鉄筋コンクリート造壁付き部材を有する建築物の構造計算方法の明確化を図るため、壁が取り付け柱及び梁の部材種別判定基準に関する検討を行う。
4	鉄筋コンクリート造のスラブ協力幅に関する検討	鉄筋コンクリート造建築物の保証設計方法の合理化を図るため、スラブに取り付け梁の強度等について技術基準の見直しに関する検討を行う。
5	鉄骨造部材の部材種別判定の合理化に関する検討	鉄骨造建築物の構造計算方法の合理化を図るため、鉄骨ブレース構造の部材種別判定等について技術基準の見直しに関する検討を行う。
6	浮き上がりを生ずる建築物の構造設計法に関する検討	建築物の保有水平耐力計算の合理化を図るため、建築物の浮き上がりを考慮した崩壊形等について技術基準の見直しに関する検討を行う。
7	耐久性等関係規定におけるコンクリートの強度管理の基準に関する検討	コンクリートの多様化への対応及びコンクリートの強度管理方法の合理化を目的とした技術基準の見直しに関する検討を行う。
8	木造建築物の壁倍率の基準に関する検討	大臣認定を受けた壁倍率の実績等をもとに、告示に位置づけるべき具体的な仕様を検討する。
9	指定建築材料ごとに国土交通大臣が指定する日本工業規格の追加に関する検討	大臣認定を受けた指定建築材料の実績等をもとに、新たな日本工業規格を告示に位置づけるために必要な検討を行う。
10	CLT(直交集成板)に関する防火性能の検討	CLTの部材等の燃えしろ設計法の基準整備に必要な実験等を行う。
11	防火に関する大臣認定仕様の告示化の検討	防耐火構造の大臣認定で類似の仕様が多い壁、柱やはり等の構造方法を告示に位置づけるために必要な実験等を行う。
12	防火設備の検査項目、方法等の検討	防火設備の効率的かつ合理的な検査項目、方法等の検討を行う。
13	既設昇降機の地震に対する安全性の確保に関する検討	地震時に圧縮を受ける既設エスカレーターについて地震による圧縮に対して脱落するおそれがない構造方法を検討する。また、既設エレベーターの耐震性向上のための改修方法を検討する。
14	床の遮音性能の規定の合理化に関する検討	品確法に基づく評価方法基準において、重量床衝撃音に対する遮音性能を評価する基準の与条件の合理化のための検討を行う。
15	混合セメント等を使用したコンクリートの耐久性に関する検討	品確法に基づく評価方法基準において、混合セメント等を使用する場合のコンクリートの耐久性等に与える影響の検証により、劣化対策を評価する基準見直しのための検討を行う。
16	各種空調設備システムの潜熱負荷処理メカニズムを踏まえたエネルギー消費量評価法に関する検討	省エネ法に基づく省エネ基準において、窓開閉動作や熱湿気に関する建物特性等に関する情報を基に、潜熱負荷を適切に考慮した熱負荷計算法の構築を行う。
17	昼光利用による照明エネルギー消費量削減効果評価の高度化に関する検討	省エネ法に基づく省エネ基準において、評価条件が限られている昼光連動調光制御について、多様な開口部と照明制御設定の違いを評価できるように検討を行う。

※上記案は、平成26年4月7日時点のものであり、今後変更される可能性があります。